展子虔『游春図』～中国現存最古の山水画～

古代中国の伝統絵画は人物画から始まりましたが、現存する最古の山水画は、隋王朝期の画家・展子虔（てん・しけん）による『游春図』です。今回は、隋の時代から唯一現代に伝わるこの貴重な絵画作品をご紹介します。


（パブリック ドメイン）

過去と未来をつなぐ「唐画の祖」展子虔

展子虔（約550－604年），渤海（現在の山東省陽信縣）出身で、山水・人物のほか、台閣や車馬などを描くのを得意としました。顧愷之（こ・がいし）、陸探微（りく・たんび）、張僧繇（ちょう・そうよう）とともに、唐代以前の中国絵画史における四大画家と称されています。

展子虔の人物画は、とりわけ緻密な筆遣いが特徴です。色彩のぼかしを用いて顔を描写することで、生き生きとした人物を表現しました。馬の絵においては、一瞬の動きをとらえるだけでなく、その気性までも描き出す手腕が高く評価されています。さらに山水画では、「遠近の構図が最も秀逸で、小さな画面の中にも広大な世界が広がっている」と絶賛されました。

史料によると、展子虔は長安や洛陽、江都などの寺院で、菩薩・八王分舎利①などの壁画、仏教画「法華経変②」、風俗画「長安車馬人物図」などを描いたとされていますが、これらの作品は現存していません。

隋王朝の存続期間はわずか38年と短く、その時代に活躍し名を残した画家は多くありません。展子虔は北周から隋への王朝交代を見届け、中国の南北朝時代と唐代をつなぐ画家として知られ、「唐画の祖」と称されています。

活気に満ち溢れる春の息吹『游春図』

『游春図』は絹地に顔料で描かれた「設色絹本（けんぽんちゃくしょく）」で、縦43cm、横80.5cmの大きさです。風光明媚な春の日に、人々が山間や水辺に出向き、春の行楽「春遊（しゅんゆう）」を楽しむ情景を描いた作品です。

この絵は山脈と河川を主体とし、奥行きを表現する「平遠」の構図を用いているため、手前から奥へと広々とした空間が展開されています。林には若葉が芽吹き始め、花々が咲き乱れ、曲がりくねった小道が静かな奥へと続いています。杖を引いてゆっくり散歩する人もいれば、馬に乗りのんびりと景色を楽しむ人もいます。山間にはところどころに寺院が点在し、遠くには白雲が漂い、見る者の心を惹きつけます。きらきらと輝く湖面には、小舟に乗って春を心ゆくまで楽しむ人々の姿も描かれています。

『游春図』は全体的に流麗な筆遣いで描かれています。春を象徴する青と緑を基調としつつ、赤や白の建物、橋、人物、雲などでアクセントを添え、活気に満ち溢れる春の息吹を見事に表現しています。

芸術家としても名高い北宋の皇帝・徽宗（きそう）はこの『游春図』をたいへん気に入り、巻頭の隔水部分③に自ら筆を執りました。自身が考案した独特の楷書体「瘦金体（そうきんたい）」で「展子虔遊春圖」の六文字を揮毫し、この絵画の価値をさらに高めました。

山水画の成熟を象徴するマイルストーン

古代中国の伝統絵画は当初、人物画が主流であり、山水は人物の物語を彩る背景にすぎませんでした。そればかりか、主題である人物が不自然なほど大きく描かれ、実際の比率に基づいた客観的な描写はほとんどなされていなかったのです。

一方、『游春図』は山水そのものを主題に据え、「人が山よりも大きい」「水面が狭く船一隻すら浮かべない」といった当時の慣習を打ち破りました。景物の遠近・高低・大小といった空間的な関係性をしっかりと計算して描かれています。そのため、『游春図』は中国山水画の成熟を象徴する画期的な作品ともみなされます。また、大自然の美しさと「春遊」を楽しむ人々の喜びが融合し、画家の心情が風景に見事に投影されている点も高く評価されており、中国初期の山水画の発展を研究する上で重要な史料となっています。

さらに、『游春図』は「青緑山水（せいりょくさんすい）」の祖とも言えます。この作品は、唐代の「大青緑山水」や「金碧山水画（きんぺきさんすいが）」で名を馳せた李思訓（り・しくん）、李昭道（り・しょうどう）父子をはじめとする後世の画家たちに多大な影響を与えました。明代の山水画家・董其昌（とう・きしょう）も、この『游春図』を「世にも稀なる名筆」と絶賛しています。

註

①「八王分舎利（はくおうぶんしゃり）」とは、お釈迦様（釈尊）がクシナガラで入滅（死去）して火葬された後、そのご遺骨（仏舎利）をめぐって争いになりそうになったため、バラモンの仲裁によって8つの国・部族に平等に分配されたという伝説および出来事のこと。

②「法華経変（ほけきょうへん）」（または法華経変相図）とは、仏教経典である『法華経』に説かれている釈迦の説法や、数々の奇跡、譬喩（ひゆ・たとえ話）の場面を、文字の読めない人にも分かりやすく理解できるように絵画や彫刻として視覚化したもの（経変・変相図）のこと。

③東アジアの伝統的な書画の装丁（手巻や掛軸など）における専門用語の一つ。「隔水（または隔界）」とは、書画を装裱する際、異なる領域を区切り、画心（書画家が実際に文字を書いたり絵を描いたりした中心部分）を保護するために用いられる絹織物や紙の帯を指す。「巻首隔水処」とは、作品の冒頭（右側）にあるその隔水の部分を指す。

（文・趙若蘭／翻訳編集・常夏）

空前絶後の芸術作品はどのように誕生したのか？

芸術は人類文明の知恵の結晶です。歴史を遡ると、芸術の起源は信仰と深く結びついています。特定の思想や感情が胸に強く満ちたとき、人々はそれを歌や絵、踊りによって表現してきました。

太古の時代、神々に対する人々の畏敬と敬虔な祈りは、他のいかなる感情よりも純粋で強いものでした。そのため、あらゆる芸術の黎明期において私たちが目にするのは、天上の神仏を描いた作品ばかりです。

歴史の大河を遡り、世界各地の足跡を辿ってみましょう。絶大な力を備えた神仏がいかに人の世で奇跡を示し、敬虔な古人たちがいかに芸術の輝きを紡ぎ出したのかを見ていきます。

ダビデ王「神が私と共にある」

今から三千年以上前、戦乱と恐怖に包まれていた中東。サウル王はイスラエル軍を率いてペリシテ人と対峙していました。しかしペリシテ軍には圧倒的な力を誇る巨人「ゴリアテ」がおり、イスラエル陣営には立ち向かえる勇士がいませんでした。ゴリアテは連日陣前に進み出ては罵声を浴びせましたが、立ち向かおうとするイスラエル兵は一人もいませんでした。

両軍が四十日間にわたって睨み合う中、一人の羊飼いの少年が、従軍していた三人の兄に食料を届けにやって来ました。この光景を目にした少年は言いました。

「僕がゴリアテと戦いに行きます」

兄たちは激怒し、非力な少年が巨人に勝てるはずがないと、羊飼いの仕事に戻るよう諫めました。しかし、少年の確信は揺らぎませんでした。彼は足元から小石を五つ拾い上げ、投石器を手に取ると、単身でその巨人へと歩み出しました。


ダビデ王の像（パブリック ドメイン）

痩せ細った少年が立ち向かってくる姿を見て、ゴリアテは身の程知らずだと嘲笑しました。しかし、少年は極めて落ち着いた面持ちで言い放ちました。

「神が私と共にある」

少年が振りかぶって放った一石は、巨人の額の眞ん中を正確に射抜きました。ゴリアテが倒れ伏すと、ペリシテ軍は蜘蛛の子を散らすように四方へ敗走していきました。

この少年こそがイスラエルの英雄となり、のちに民から敬愛されるダビデ王となったのです。

ミケランジェロの傑作「ダビデ王の像」

ダビデ王の時代から二千年余りが過ぎた頃、フィレンツェの大聖堂造営局に巨大で上質な大理石が届きました。当局は市内で最も才能ある芸術家を集め、この原石から傑作を彫り上げる者を募りました。この極めて困難な仕事に名乗りを上げたのが、当時26歳の若きミケランジェロでした。

ミケランジェロは制作に没頭し、周囲の雑音を遮断するために大理石の周りに板塀を巡らせました。それでも、石から像を彫り出す工程は想像を絶する苦難の連続でした。「この巨大な石塊に、いかにして生命を吹き込むべきか？」

彼は聖書の記述を頭の中で幾度となく思い返しました。制作に行き詰まるたび、脳裏に浮かんできたのは、あのダビデの信仰に満ちた言葉でした。

「神が私と共にある」

研ぎ澄まされた眼差し、揺るぎない覚悟をたたえた表情が、ミケランジェロのノミによって徐々に輪郭を現していきました。ミケランジェロは、巨人と対峙していたその瞬間のダビデを直視したかのように、心の底から湧き出る信仰心と、恐れを知らぬ勇敢さを、引き締まった肉体の躍動へと刻み込んでいったのです。彼は寝食を忘れ、助手を頼むこともほとんどありませんでした。己の脳裏にあるダビデ像を、他人が真に理解できるとは思えなかったからです。

二年余りの歳月を経て、不朽の傑作「ダビデ像」が完成しました。古今東西のあらゆる彫刻の中でも至高の作であると称賛されたこの像は、当初予定されていた教会の屋根付近ではなく、フィレンツェのシニョーリア広場（市庁舎前）に設置されることとなりました。そして幾多の歳月と風雨を乗り越え、今なおその圧倒的な輝きを保ち続けています。

（翻訳・慎吾）

安心！快速！熱情！成功率高！
本人不用去入管 申請手續全代理 愛知 行政書士 玉田事務所
☑ 専門為中部地區中国人申請簽證 ☑ 年中無休 ☑ 初次電話詳談免費 中國語OK!
入管ビザ（簽證）申請専門
会社設立・投資経営
☑留学簽證轉成投資経営簽證
☑人文、技術、技能簽證轉成投資経営簽證
☑国内親屬、友人来日、投資経営
定住、永住、帰化
☑日本人配偶者簽證轉成永住、帰化
☑離婚後日本人配偶者簽證轉成定住
查証業務
☑各種簽證取得・更新・変更
☑国際結婚、家族滞在
☑日本人的配偶者
☑人文、技術、技能、投資経営など
法務業務
☑不法滞在者的在留特別許可
☑申請假釋
☑簽證被拒後，再申請
☑各種理由書作成

9:00～18:00 中国語SB 090－1729－8181
日本語SB 080－4123－8572
日本語 普通電話 0587－81－8100
FAX 0587－81－8102
〒492－8143
愛知県稲沢市駅前2-4-4 スカイル21 101
http://www.visa-aichi.com
入國管理局承認行政書士
玉田和弘